

# 平成30年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」(母体:厚田区自治体育協会) (平成18年10月26日設立 会員数 20名)

## 【目的】

スポーツ・食を通じた地域振興に取り組み、地域住民の健康増進と地域間・世代間の交流・親睦を図る事業展開を進め、区内外で「ふるさと厚田」をPRし、地域活性化を図る

## 【主催事業】

### ●厚田区スポーツと食の体験(6/24) ※室内開催

会場:望来みなくる多目的ホール

入場者数:約150名

(玉入れ競技)17チーム 120名参加

・小学生の部4チーム 一般の部6チーム

・高齢者の部6チーム 幼児の部1チーム

(紙飛行機グランプリ)小学生から一般まで50名参加

・紙飛行機を作成し、飛行距離を競う

(地域おこし協力隊企画)100名参加

・〇×クイズ

(食のひろば)

・食の体験(飛ぶ鳥農場 角野氏講演)

・味わいタイム(厚田産そば、卵かけごはん(飛ぶ鳥農園)、きのこ村しいたけ、JA加工品など)



### ●“厚”“熱”集まれ 夏のビアガーデン(8/3)

会場:厚田総合センター駐車場

・望来豚 豚串、ホタテ焼き

・焼きそば、おでん、生ビール



### ●厚田区カローリング大会(10/10)

会場:厚田小学校体育館

・入場者数:約60名

参加チーム、選手人数:16チーム 48名

※浜益大会派遣:2チーム 6名(11/7)

※全道交流会派遣:3チーム 9名(11/11)



### ●厚田区ミニバレー大会(11/25)

・入場者数:約100名

参加チーム、選手人数:19チーム 76名

・小学生の部、一般の部(男女混成 ※中学生含む)



### ●厚田区ウィンターレクフェスタ(2/10)

入場者数:約150名

・スキーゲレンデ開放

・人間カーリング選手権

・雪の滑り台2基設置(ジャンボ、ちびっ子)

・雪中バナナボート、モービル乗車体験

・雪像コンテスト

・屋台コーナー(豚汁、豚串、ライス、刺ドリツ各種)



【協力事業】

◆Tour of KAMUI 厚田エイドステーション設置 (5/13・8/26)

- 平成27年より協力。民間のサイクリングツアーに協力し、エイドステーションとして厚田の旬の食材で昼食を提供。
- 参加者 5/13 38名・8/26 30名

◆濃屋山道トレイルランニングガイド育成研修会 (7/29)

- 平成29年度より協力。厚田の旬の食材で昼食を提供。
- 参加者 38名

◆あつた夏祭り出店協力 (8/5)

- 平成27年度より～会場：厚田総合センター前駐車場  
おでん、焼そば

●会議数 6回 (総会、実行委員会等)



Tour of KAMUI 厚田エイドステーション



濃屋山道トレイルランニングガイド育成研修会

# 平成30年度 厚田区内 各団体活動報告

あつたの森支援の会「やまどり」 (平成20年3月2日設立 会員数33名(H30.4.1現在))

## 【目的】

森林施業などの各種体験を通して区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り・山づくりに寄与し、山のすばらしさを多くの人たちと共有する。

## 【活動内容】

- 下草刈り
  - ・生活環境保全保安林 (6月～8月 3日程)
  - ・すこやかロード (6月～8月 3日程)
- 地ごしらえ等
  - ・あつたふるさとの森 (10月 1日程)
- 植栽
  - ・あつたふるさとの森 (10月 1日程)
- 除間伐
  - ・生活環境保全保安林 (11月 1日程)
- 会議数 2回 (総会、役員会等)



# 平成30年度 厚田区内 各団体活動報告

NPO法人 あつたライフサポートの会 (平成20年3月29日設立)

## 【目的】

区内において地域の人達でお互いに地域を支え合い、安心して住み続けることができるシステムの構築を図るとともに、日常生活を支援し、住民の健康増進、福祉の向上に寄与する。

## 【活動内容】

### ●会員数

〈利用者会員数〉 40名 (内 移送 34名登録) ※30年度新規加入者 1名  
〈サポーター会員〉 20名  
〈賛助会員〉 0名

●委員会 (会議) 11回 (安全運転講習会 内2回)

### ●事業項目と詳細

#### 〈移送事業〉

- ・利用者数 501名 (H29\_628名)
- ・サポーター出動数 延べ 258名 (H29\_325名)  
(バス99回・高齢者クラブ 147回)

#### 〈除雪事業〉

- ・依頼件数 11件 (H29\_17件)
- ・依頼戸数 8戸 (H29\_10戸)
- ・延べ作業時間 31H (H29\_64H)
- ・延べサポーター出動数 28人 (H29\_54人)

### ●事業収入

〈移送事業〉 92,050円 (H29\_116,050円)  
〈除雪事業〉 28,050円 (H29\_57,000円)



# 平成 30 年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田資料室サポートの会 (平成 21 年 2 月 25 日設立 会員数 13 名)

※「あつた資料室リニューアル構想策定協議会」から平成 22 年 12 月「厚田資料室サポートの会」と名称変更

## 【目 的】

子母澤寛、戸田城聖、吉葉山潤之輔、佐藤松太郎の四名を中心に広く紹介し、歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に厚田を全道・全国にPRし、新たな地域づくり、歴史文化の伝承を図る。

## 【活動内容】

平成 30 年 道の駅オープンに伴い、旧資料室は閉館・解体され、現在は道の駅 2 階に郷土資料室、また 2 階フロアーに自然・歴史展示コーナーが設置され、今後 当会としては、道の駅 2 階フロアーを活用した特別展等の開催に向けた準備・検討を模索していきたい。

# 平成 30 年度 厚田区内 各団体活動報告

地域教育分科会 (平成 22 年 2 月 17 日発足 会員数 10 名)

## 【目 的】

地域の子ども達の教育向上に向け、「地域」「保護者」「学校」が一体となった地域教育を目指す。

## 【活動内容】

令和 2 年の厚田学園開校準備委員会での新しい学園の方向性を注視し、一時分科会の活動を休止していたが、その方向性が明確(コミュニティスクール(学校運営協議会制度)導入)となったことから、今後 当会として 新たな学園に地域がどの様に関わるべきか等の検討を準備委員会とも連携を図りながら、活動を再開していきたい。

# 平成30年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田アクアレール実行委員会 (平成22年12月10日発足 会員数 9名)

## 【目的】

厚田のすばらしさを水彩画展を通してPRし、優れた芸術・文化に触れることで、豊かな人間性を育み、新たな地域づくりを目指す。

## 北の海厚田アクアレール「第4回水彩画展」

### ●作品公募 (期間 H29.7~H30.5.10)

#### 【応募方法】 部門別募集

※ 参加者の間口を広げるため、今回から  
「大部門」「小部門」別に募集した。

#### 【応募点数】 118点 (棄権含)

大部門 86点、小部門 32点

【応募者数】 92名 (道内 87名 くうち市内 7)

【PR方法】 ポスター、市HP、広報、道新、スッチャー開催  
絵画教室・サークルでの紹介

### ●看板設営 (開催告知看板)

### ●作品搬入 (6/10 厚田総合センター)

【搬入点数】 全 115点 (応募 118 うち棄権 3)

実行委員、支所職員により作品の運搬、受付実施

### ●審査会 (6/16 厚田総合センター)

【審査委員】 4名

【ボランティアスタッフ】 5名 (搬入 1名、審査会 2名)、会場設営 2名

【結果】 大賞 2点 (大部門 1、小部門 1)

優秀賞 1点 (大部門 1)

佳作 10点 (大部門 6、小部門 4)

入選 62点 (大部門 46、小部門 16)

### ●表彰式・パーティー (7/21 厚田総合センター大ホール)

#### 【表彰式】

・出席者 68名 (受賞関係者 41、来賓 27)

#### 【パーティー】

・出席者 61名 (受賞関係者 41、来賓 31)

・漁協女性部 (5名) の協力により  
地元の食材を使った料理を振る舞う。

### ●展覧会 (7/22~8/5 厚田総合センター大ホール)

【展示作品】 大部門 54点 小部門 21点

【入場者数】 785名 (うち厚田区民 150名)

※8/3-ゆめ倶楽部ビアガーデンの開催に合わせ時間延長

※期間中、区内小中学校児童生徒の作品を会場入口に展示





# 平成 30 年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田こだわり隊 (平成 24 年 3 月 23 日発足 会員数 34 名)

## 【目的】

厚田区内の生産者、消費者、販売者等が結集し、厚田の「土地」「味覚」「らしさ」にこだわって、厚田の良さをPRし、また漁業・商業、観光等連携を図り、共に持ち味を出し合い、新たな地域活性化に取り組む。

## 【活動内容】

### ●各種イベント出店

- ・道の駅石狩 (4/27~11/24) 延べ 25 日間
- ・戸田記念墓地公園「さくら祭り」(5/8) 望来
- ・石狩川水系豊平川総合水防演習 (6/17) 東雁来
- ・RSR (8/10-11) 新港
- ・胆振東部地震被災地炊き出し (9/16) 追分
- ・厚田ふるさとあきあじ祭り (9/23) 望来
- ・厚田の文化祭 (11/10) 厚田
- ・科学の祭典 (12/9) 市民図書館
- ・さっぽろ雪祭り自衛隊慰問 (1/22) 大通公園



### ●PR事業

SNSを利用した情報発信  
<Facebook> <Blog> <Instagram>

### ●研究開発事業

- ・「厚田こだわり隊のたれ」開発、商品化 (H27/6)
- ・「厚田のふたまん」の開発、商品化 (H28/4)  
※主な販売場所 (札幌) きたキッチン、北海道どさんこプラザ  
(市内) JA いしかりとれのさと  
(区内) 道の駅石狩、宮崎商店、阿部商店
- ・「厚田のフランクフルト」の開発、商品化 (H29/4)  
※主な販売場所 (区内) 道の駅石狩
- ・「厚田のあんまん」の開発、商品化 (H30/4)  
※餡については、JA北いしかり女性部厚田ブロックが製造協力  
※主な販売場所 (札幌) 北海道どさんこプラザ  
(区内) 道の駅石狩



### ●会議数

- ・大作戦会議 1 回
- ・作戦会議 1 回



# 平成30年度 厚田区内 各団体活動報告

地域賑わい呼びおこし隊 (平成28年5月12日設立 会員数10名(H30.3.30現在))

## 【目的】

朝市食堂の試験営業により、新たな朝市の魅力創出や、朝市との相乗効果、食堂運営の仕組みを構築し、将来的な漁業関係者などによる経営のきっかけ作りをし、また朝市の賑わいを通じて、厚田区の地域活性化を図ることが目的。

## 【活動内容】

H28/5回、H29/3回の試験営業を厚田港朝市会場隣で開催。

下記はH29の試験営業の実績及び様子の写真

実施日	提供メニュー	販売食数	備考
① 5月22日(日)	ホタテソテーと豆イカ煮付け定食	161食	700円
② 6月24日(土)	朝市タコカレー	150食	700円
③ 7月22日(土)	ホタテソテーと夏野菜丼	96食	700円



食堂風景



ホタテソテーと豆イカ煮付



ホタテソテーと夏野菜丼

## 【実施の効果】

利用者のほとんどが石狩市外ということもあり、朝市食堂を通じて港朝市や厚田区のPRができ、交流人口の増加に寄与できた。

この時間帯の営業においては、ある程度の利益が見込めるという実績から、今後は、漁業関係者や飲食店経営者が自ら営業することに期待したい。

朝市食堂の試験営業としては一定の成果が出たことから、団体としての役割は終了と評価している。H30は朝市食堂は実施しておらず、団体は休止しており解散する予定。

## 1 厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」事業実績

年 度	スポーツと 食の体験	ミニバレー ボール	ウィンター レクフェスタ	サンセット	厚熱集ビ ア	加ーリング	備 考
					(旧夕日の丘ビア)		
19	250人	180人	250人				☆125千円基金活用(19年度～3年間)
20	280人	190人	150人				ミニバレー浜益参加(1チーム)
21	300人	190人	5,000人				ミニバレー緑苑台参加(1チーム) ウィンターレク石狩商工青年部と共同開催
22	300人	150人	200人				ミニバレー緑苑台参加(2チーム)
23	200人	150人	中止(吹雪)				ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
24	200人	130人	150人	800人	200人		ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
25	200人	150人	200人	1,000人	100人	50人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム) 厚熱集ビア:雨天
26	150人	100人	150人	500人	200人	80人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
27	200人	80人	150人	1,000人	200人	60人	ミニバレー緑苑台参加(2チーム)
28	180人	80人	100人	1,000人	250人	60人	ミニバレー緑苑台参加(3チーム)
29	100人	130人	100人	1,000人	250人	60人	ミニバレー区外チーム参加 (緑苑台4、紅南2、生振5、生活クラブ2)
30	150人	100人	150人	-	250人	60人	ミニバレー区外チーム参加 (緑苑台2、生振6、生活クラブ1)
計	2,510人	1,630人	6,600人	5,300人	1,450人	370人	

★ 地域づくり基金 125千円 × 3年間 事業費の一部として活用 (H19～21年度)

☆ 25年度より「ゆめ倶楽部」と名称変更(旧厚田区自治体育振興会)

310

## 2 あつたの森支援の会「やまどり」実績

年 度	草 刈		植 樹		枝 打 ち		研 修 ・ 交 流		地 域 振 興 支 援 事 業
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	
21	4回	69人	1回	20人	—	—	—	—	流れ橋設置撤去
22	9回	89人	2回	43人	1回	16人	4回	62人	流れ橋設置撤去 資料室看板製作設置
23	12回	80人	2回	42人	1回	13人	3回	67人	流れ橋設置撤去
24	8回	64人	—	—	—	—	2回	54人	流れ橋設置撤去 水彩画告知看板製作設置
25	12回	49人	2回	71人	1回	12人	3回	35人	流れ橋設置撤去
26	12回	74人	2回	33人	0回	0人	2回	32人	流れ橋設置撤去
27	12回	67人	1回	60人	1回	9人	3回	79人	
28	11回	56人	1回	48人	1回	8人	3回	70人	
29	5回	47人	1回	21人	1回	10人	3回	58人	
30	3回	28人	1回	31人	—	—	3回	67人	
計	88回	623人	13回	369人	6回	68人	26回	524人	

★ 地域づくり基金 1,500千円活用 資機材購入 (H22年度)

### 3 NPO法人 あつたライフサポートの会 事業実績

年度	移送事業					除雪事業			
	サポーター数	利用者数	送迎内訳			件数	戸数	時間 (延時間)	サポーター数 (延数)
			バス送迎	高齢者	イキキリハ				
21	306人	910人	112回	80回	30回	1件		4H	2人
22	308人	903人	37回	96回	16回	8件		29H	26人
23	225人	607人	35回	72回	13回	44件		272H	168人
24	275人	598人	70回	90回	18回	25件		110H	73人
25	238人	587人	26回	144回	2回	20件		99H	59人
26	240人	558人	86回	122回	24回	17件		80H	59人
27	208人	518人	58回	126回	12回	11件		64H	42人
28	296人	675人	83回	138回	4回	2件	2戸	3H	7人
29	325人	628人	126回	170回	0回	17件	10戸	64H	54人
30	258人	501人	99回	147回	0回	11件	8戸	31H	28人
計	2,679人	6,485人	732回	1,185回	119回	156件	20戸	756H	518人

★ 地域づくり基金 583千円活用 事業開始に係る初期経費や備品の一部を購入 (H21年度)

### 4 資料室サポートの会 入館者等実績

年度	入館者		入館料		備考 (会館期間:5月1日~10月30日(6ヶ月間))
	人数	対前年比	収入	対前年比	
19	1,209人	—	2,600円		5月~9月末(無料)、10月から有料
20	302人	25.0	55,640円	2140.0	リニューアル構想策定協議(4月~3月末)
21	381人	126.2	67,320円	121.0	地域づくり基金 3,000千円活用 内部改修
22	2,816人	739.1	414,000円	615.0	5月16日リニューアルオープン(初日 503人無料入館)
23	2,218人	78.8	398,520円	96.3	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
24	2,978人	134.3	549,600円	137.9	特別展2回 営業活動
25	3,224人	108.3	579,120円	105.4	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
26	2,627人	81.4	390,560円	67.4	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
27	1,326人	50.5	226,440円	58.0	プレゼント企画 特別展3回 営業活動
28	-	-	-	-	閉館
計 (H22~)	15,189人		2,558,240円		※ 計は、リニューアル後(22年度以降)の数字

★ 地域づくり基金 3,000千円活用 内部改修 (H21年度)

## 5 厚田アクアレール水彩画展 事業実績

回数	応募点数(内道外率)		入場者数(人)	地域協力者(人)	備考
第1回 (H23・24)	157	10.2	1,233	61	★地域づくり基金 2,629,500円 活用(3/4) (H23 229,500円、H24 2,400,000円)
(有料339名、無料894)					
第2回 (H25・26)	106	12.3	919	50	★地域づくり基金 1,164,000円 活用(1/2) (H25 258,000円、H26 906,000円)
(有料506名、無料413)					
第3回 (H27・28)	138	12.8	792	50	★地域づくり基金 1,028,165円 活用(1/2) (H27 162,532円、H28 865,633円)
(有料438名、無料354)					
第4回 (H29・30)	115	5.2	786	35	★地域づくり基金 761,239円 活用(1/2) (H29 155,222円、H30 606,017円)
(有料573名、無料213)					

## 6 厚田こだわり隊 事業実績

### 【直売事業】

年度	開催期間	開催回数	売上(円)	利益(円)	利益率(%)	販売品提供者(人)				販売員		
						計	生産者(隊員)	生産者(協力者)	団体(協力者)	隊員	地域協力者	延べ人数
24	7月～8月	8	489,602	126,328	25.8	5	3	0	2	9	11	66
25	7月～9月	22	1,483,460	341,556	23.0	13	6	3	4	10	9	182
26	7月～9月	26	2,019,610	114,386	5.7	26	8	11	7	5	4	77
27	7月～9月	29	2,156,732	▲ 63556	▲ 2.9	22	11	5	6	6	2	108
28	7月～9月	23	3,178,677	273,569	9	29	7	15	7	7	1	96
29	7月～10月	26	2,636,715	▲ 5420	▲ 0.2	-	-	-	-	10	1	109

※ H29年度で直売所終了

## 7 地域賑わい呼びおこし隊 事業実績

### 【朝市食堂】

年度	開催期間	開催回数	販売食数(食)	売上(円)	地域協力者(延べ人数)	備考
28	5月～8月	5	721	360,600	72	開設時間 6:00～9:00 ※平日1回、土曜日1回、日曜日2回、祝日1回
29	5月～7月	3	407	292,440	47	開設時間 6:00～9:00 ※土曜日2回、日曜日1回 (H29年度で終了)

## 7 地域賑わい呼びおこし隊 事業実績

### 【朝市食堂】

年度	開催内容				
28	5回	提供メニュー	開催日	提供食数	地域協力者(延べ人数)
	1回目	：砂カレイ唐揚げ定食	5/15(日)さかな感謝デー	198食	14人
	2回目	：ホタテソテーと豆缶煮付け定食	6/5(日)さかな感謝デー	198食	18人
	3回目	：朝市タコカレー	7/7(木)平日	55食	14人
	4回目	：ホタテソテー・夏野菜丼	7/23(土)	115食	14人
	5回目	：海鮮塩焼きそば	8/11(木)祝日(山の日)	155食	12人
			計721食	72人	
29	3回	提供メニュー	開催日	提供食数	地域協力者(延べ人数)
	1回目	：ホタテソテーと豆缶煮付け定食	5/22(日)	161食	15人
	2回目	：朝市タコカレー	6/24(土)	150食	17人
	3回目	：ホタテソテー・夏野菜丼	7/22(土)	96食	15人
			計407食	47人	